

シンポジウム

日台における 訴訟を通じたLGBTの権利保障

同性間の婚姻について規定しない現行民法を、憲法上の婚姻の自由と法の下での平等に反するとして違憲と判断し、2年以内の法改正を命じた748号解釈がなされ、5月24日から同性間の結婚が可能になる見込みの台湾。ここに至るまで当事者たちはどのような法的ルートを通じて婚姻平等化を求めてきたのか、日本の場合と比較しつつ日台の司法を通じたLGBTの権利保障のための闘いの軌跡と展望について議論します。

プログラム

開会にあたり（府中事件以後の日本の一連の裁判を振り返って）

中川重徳（弁護士、「府中青年の家事件」訴訟代理人）

「台湾におけるLGBTの権利平等と法的戦略」

許秀雯（台湾伴侶權益推動連盟常務理事、婚姻平等憲法解釈訴訟代理人）

「日本におけるトランスジェンダーへの嫡出推定規定の適用をめぐる裁判について」

山下敏雅（弁護士）

「日本における台湾人同性パートナーの在留特別許可訴訟について」

永野 靖（弁護士）

「日本における婚姻平等訴訟の提起について」

寺原真希子（弁護士）

総合討論

司会 鈴木 賢（明治大学教授、明治大学現代中国研究所長）

通訳 劉 靈均（三重大学専任講師）、梁 鎮輝（宇都宮大学大学院博士課程）

助成 JSPS科研費・挑戦的萌芽研究

「台湾・中国におけるLGBT権利保護法制整備への道」（鈴木賢研究代表）

（事前予約不要・入場無料）

開場9:15

4月27日（土） 9:30 ~ 12:30

会場：明治大学 グローバルフロント1階 多目的室

主催：明治大学現代中国研究所 03-3296-2982(月水土午後) china@meiji.ac.jp